

## 研究主題 中学校学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた指導の改善

### I 団体の概要

- 都内公立中学校の数学科教員をもって構成する数学教育研究会。
- 中学校数学教育の向上を図ることを目的とし、会長のもと会員相互の自主と協調のもとに、以下の5部会・8委員会を組織し、数学教育全般にわたる研究活動を実施。（本年度、指導法委員会は活動休止）

**5部会** 庶務部・研究部・調査部・広報部・会計部

**8委員会** 研究部内に、数式委員会・教育課程委員会・指導法委員会  
図形委員会・確率統計委員会・評価委員会・導入法委員会・関数委員会

### II 主な年間活動

#### ●運営に関する会（総会）・講演会の開催

- 令和6年5月11日(土)  
於 練馬区立開進第二中学校 セミナーハウス（松山館）
- ・指導改善に向けた大学教授等による講演会  
演題 「ICTを活用し個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた数学学習」  
講師 東京女子体育大学 教授 石出 勉 先生

#### ●数学指導技術向上研修会の開催

- 【本研究会と東京都教職員研修センターが連携研修として開催】  
令和6年8月20日(火) 於 新宿区立西早稲田中学校
- ・若手、中堅の都内数学科教員を対象とした研修会の企画・運営

#### ●研究部委員長研修会の開催

- 第1回 令和6年6月21日(金) 於 新宿区立西早稲田中学校  
第2回 令和6年10月10日(木) 於 新宿区立西早稲田中学校

#### ●研究大会への参加

- ・第106回全国算数・数学教育研究（大阪）大会  
令和6年8月2日(金) 【教育課程委員会・関数委員会】
- ・第79回関東甲信静数学教育研究長野大会  
令和6年11月8日(金)  
【教育課程委員会・関数委員会・評価委員会】

#### ●第62回研究発表大会の開催（予定）

- 令和7年2月15日(土)13:20～ 於 新宿区立西早稲田中学校
- ・指導改善に向けた大学教授等による講演会  
演題 「学校数学における一貫性のある学び」  
講師 東京学芸大学 大学院 教授 西村 圭一 先生
  - ・領域等における指導改善の実践と研究成果の発表  
【調査部及び、研究部7委員会】  
《各委員会及び、調査部の発表テーマ》

教育課程	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導」
確率統計	「主体的・対話的で深い学びを実現させるための」指導方法について」
導入法	「誤差や近似値」指導における実践例報告
図形	「生徒が主体的に取り組む証明指導」
関数	「1次関数の値の変化の割合の指導と評価」
評価	学習指導要領における評価の在り方について (7)～ルーブリックを用いたインタビュー形式での評価の試行(2)～
数式	「主体性を育てる指導の工夫」～自ら考えを表現できる生徒の育成～
調査部	「数学教育推進にかかわる実態調査」の結果の分析と報告

#### ●その他の活動

- ・講演会、研究部活動、地区活動の報告をまとめた会報誌および、研究発表集録の発行 【広報部】
- ・都内公立全中学校対象「数学教育推進にかかわる実態調査」の実施および、結果の分析と報告 【調査部】

### Ⅲ 令和6年度 数学指導技術向上研修会について（報告）

#### ●取組の内容

- ・受講生と助言者（本会役員及び委員会所属委員）の対面による集合型研修で、受講生を事前アンケートから指導領域ごとに11の班に編成し、班ごとに受講者が持参した指導案について、協議・検討後、助言者からの指導・助言を行った。
- ・本年度は、事前動画と研修会当日で、2名ずつ、計4名の講師の先生からご指導をいただいた。また、昨年よりも動画視聴期間を長くしたことで、受講生が30%増加した。

#### ●成果

##### 集合型研修による成果

- 受講者が持参する指導案がほぼ同領域となる小グループの編成ができたことで、受講生同士の活発な意見交換につながった。
- 小グループの分科会で、指導案の形式、教材観、評価計画や本時の展開など、幅広く丁寧な指導・助言が実施できた。
- 事前の動画による研修を実施したことで、学習指導案の作成について細かなアドバイスができ、協議内容が深まった。

##### ◎受講生アンケートからわかる成果（抜粋）

- 以下のような肯定的感想が多数寄せられた。
- ・指導案について様々なご指導をいただき、大変勉強になった。改めて学習指導要領解説編や指導と評価の一体化の冊子をよく読み直そうと思った。それを今後の指導に活かしたい。
  - ・導入の部分や授業の具体例などが聞けて、大変参考になった。
  - ・自分の未熟さを感じ、とても考えさせられる時間になった。2学期に早速活用していきたい。
  - ・学習指導案の書き方、評価のつけ方の基礎を学べた。単元目標を明確に設定し、それをもとに評価を考えていくことを実践する。

##### ◎講師・助言者アンケートからわかる成果（抜粋）

- ・少人数であるため、指導案検討だけでなく日頃の授業の悩みなども聞くことができた。
- ・同じ領域でグループ分けをしたため、共通の課題意識で臨めた。
- ・各グループで運営の仕方を工夫していて良かった。

#### ●課題

- ◎指導案検討の時間を充実させるためにも、指導案の提出期限を早めに設定し、助言者の準備する時間を確保する。
- ◎事前に指導案の単元を報告した受講生は5割程度であり、グループ分けに支障があったため、研修センターからの支持の徹底を図る。
- ◎当日の欠席者の把握については、研修センターと共通理解を図る。



少人数で編成した分科会では、具体的できめ細かい指導が実践できた。

#### <令和6年度連絡先>

団体名		東京都中学校数学教育研究会	
代表者	所属	板橋区立板橋第二中学校	
	職 氏名	校長 柳澤 忠男	
	連絡先	03-3956-8121	
事務局	所属	新宿区立西早稲田中学校	
	職 氏名	校長 塚本 桂子	
	連絡先	03-3205-9674	
団体ホームページ	URL	<a href="https://sites.google.com/view/tochusu/">https://sites.google.com/view/tochusu/</a>	二次元コード